

# 学校だより

高知市立高知特別支援学校



TEL (088)843-0579

FAX (088)840-9796

## 令和4年度「学校アンケート」結果

令和4年度「学校アンケート」の実施に当たりましては、お忙しい中にもかかわらず、保護者・地域の皆様合わせて111名から回答をお寄せいただきました。改めて御協力に感謝申し上げます。

このたび、結果の取りまとめができましたので、次のとおりお知らせいたします。

| 大項目   | 項目                          | 質問内容  | 回答割合 |            |             |      |            |
|---|-----------------------------|---|------|------------|-------------|------|------------|
|   |                             |   | そう思う | やや<br>そう思う | あまり<br>思わない | 思わない | 無回答<br>その他 |
| 自<br>ら<br>心<br>や<br>性<br>格<br>の<br>育<br>成<br>に<br>関<br>する<br>意<br>見<br>が<br>あ<br>る<br>か | 生-1                         | あなたは、自分や友達を大切にしたり、他の人に思いやりの心を持って接したりするよう努めていますか。              | 78%  | 17%        | 5%          | 0%   | 0%         |
|   | 保-1                         | おさんは、自分や友達を大切にしたり、他の人に思いやりの心を持って接したりしていると思いますか。               | 82%  | 15%        | 3%          | 0%   | 0%         |
|   | 教-1                         | 学校は、子供たちが自分や友達を大切にしたり、他の人に思いやりの心を持って接したりすることができるよう指導に努めていますか。 | 77%  | 17%        | 6%          | 0%   | 0%         |
| 自<br>ら<br>学<br>び<br>の<br>意<br>味<br>を<br>感<br>じ<br>て<br>い<br>る<br>か                      | 生-2                         | あなたは、授業がよくわかりますか。   | 81%  | 14%        | 5%          | 0%   | 0%         |
|   | 保-2                         | おさんは、授業がよくわかっていると思いますか。                                       | 88%  | 10%        | 2%          | 0%   | 0%         |
|   | 教-2                         | 学校は、わかりやすい授業をするために具体的な工夫や努力をしていますか。                           | 81%  | 14%        | 5%          | 0%   | 0%         |
| 自<br>ら<br>学<br>校<br>に<br>関<br>する<br>意<br>見<br>が<br>あ<br>る<br>か                          | 保-4                         | 学校は、家庭への連絡や情報提供（教育方針や取り組み等）を積極的に行っていますか。                      | 82%  | 14%        | 4%          | 0%   | 0%         |
|   | 教-4                         | 学校は、保護者や地域への連絡や情報提供（教育方針や取り組み等）を積極的に行っていますか。                  | 88%  | 10%        | 2%          | 0%   | 0%         |
|   | 地-1                         | 学校は、地域への連絡や情報提供（教育方針や取り組み等）を積極的に行っていますか。                      | 88%  | 10%        | 2%          | 0%   | 0%         |
| 自<br>ら<br>学<br>校<br>生<br>活<br>が<br>楽<br>し<br>い<br>か                                     | 生-3                         | あなたは、自分の進路について考えることができますか。                                    | 88%  | 10%        | 2%          | 0%   | 0%         |
|   | 保-3                         | 学校は、おさんが自分の進路について考えることができるような進路指導をしていると思いますか。                 | 82%  | 15%        | 3%          | 0%   | 0%         |
|   | 教-3                         | 学校は、計画的・系統的な進路指導体制のもと、子どもたちが自分の進路について考えることができるような進路指導をしていますか。 | 88%  | 10%        | 2%          | 0%   | 0%         |
|   | 生-4                         | あなたは、学校生活が楽しいですか。   | 81%  | 12%        | 7%          | 0%   | 0%         |
|   | 保-5                         | おさんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。                                       | 81%  | 11%        | 8%          | 0%   | 0%         |
|   | 教-5                         | 子供たちは、充実した学校生活を送っていると思いますか。                                   | 82%  | 14%        | 4%          | 0%   | 0%         |
| 地-2   | 子供たちは、充実した学校生活を送っていると思いますか。 | 81%   | 14%  | 5%         | 0%          | 0%   |            |

前ページの表は、回答内容を、高知市教育委員会が示す集計表によって取りまとめたものです。  
この表に示されている結果や、アンケートの自由記述欄の内容等を基にして、以下に集約を記します。

**1 子どもたちは、自分を大切にするとともに、周囲の人に思いやりの心を持って接することができるか。**

- 「そう思う」及び「ややそう思う」という回答が、保護者で約 87%，子どもで約 97%，教職員で約 99%となっています。
- 学校は引き続き支援の工夫・改善に努め、さらに多くの子どもたちにそうした実感を持ってもらえるよう、また、保護者の皆様に肯定的に感じていただけるよう、取組を進めていきます。  
具体的には、コロナ禍における他者への配慮の在り方など、子どもたちの生活に根差した題材を取り上げて指導・支援に当たります。また、いじめ防止の取組を継続するとともに、多様性の尊重を意識した教育に努めます。

**2 子どもたちは、学校生活で力をしっかり出せているか。**

- 「そう思う」及び「ややそう思う」という回答が、保護者で約 91%，子どもで約 94%，教職員で約 99%となっています。
- 本校の学校教育目標は「やる気いっぱい 市特のなかま」です。意欲的に力を発揮し、自ら活動してくれる子どもたちの姿は、本校にとって最も嬉しいことです。
- 本校では生活単元学習や作業学習を教育課程に大きく位置付けています。これらの学習活動は、一人ひとりの子どもがその良さを発揮できることが大きな魅力なのですが、教師の支援が不十分＝「できる状況づくり」が不十分であってはその魅力を活かすことができず、子どもたちに輝いてもらうこともできません。この点を改めて意識しながら、大学教授などの専門家を招いての研修等を引き続き実施し、本校の研究内容である「できる状況づくり」の取組をさらに進めていきます。

**3 学校は、家庭や地域への連絡や情報提供を積極的に実施しているか。**

- 「そう思う」及び「ややそう思う」という回答が、保護者で約 96%，地域で 100%，教職員で約 90%となっています。
- 学校は、これまでの反省と課題を忘れることなく、引き続きいねいに情報を保護者にお届けしていく取組が必要であると考えています。日々の連絡帳や学校・学部・学年・学級の通信、進路や保健、給食関係のお便りなどで積極的に発信するほか、ホームページや「すぐーる（学校家庭連絡システム）」の活用など様々な方法で情報を提供するよう努めます。また、「伝える」だけでなく、「伝わる」連絡になっているかどうかにも気を付けていきます。
- 学校内外の様々な事例に学びながら、適切な情報提供ができるよう努めます。

**4 学校は、子どもたちが自ら進路について考えることができる指導をしているか。**

- 「そう思う」及び「ややそう思う」という回答が、保護者で約 80%，子どもで約 87%，教職員で約 80%となっています。
- 一口に「進路について考える」と言っても、子どもの個人差や特性に鑑み、その内容や方法は多種多様なものとなります。生活年齢や発達の様子によって進路についての意識や理解に違いがあり、それが回答結果に反映されているようにも思われます。本校に在籍するお子さんの特性を考慮するとき、「進路について考える」ということを「頭の中で考える」という範囲に留めず、例えば「任さ

れた役割に一生懸命取り組んでいる」「働く喜びを感じて意欲的に活動している」といった、子どもの姿から推し量ることも必要ではないかと考えます。

また、「卒業後の進路」にかかわっては、現場実習を繰り返したり関係機関における諸手続きをしたりしながら、実社会における現実度の高い活動の中での進路指導を行うため、特に高等部段階において直接的に進路について意識することが多くなるものと思われます。

学校は、子どもが「自分から、自分で、めいっぱい、精一杯」活動する中で、主体的に生活を送る意欲を育むことを引き続き大切にしながら、一人ひとりの子どもの様子に応じた進路指導をしていくよう努めます。

- 小学部・中学部から高等部に向けて連続性のある進路指導がなされるよう、各学部における取組のいっそうの充実に努めます。

また、子どもが日々行っている活動が進路指導やキャリア教育にどう関連しているかといった情報提供にも配慮していきます。

## 5 子どもたちは、学校生活を「楽しい」、「充実している」と感じているか。

- 「そう思う」及び「ややそう思う」という回答が、保護者で約95%、子どもで約91%、教職員で約91%、地域で100%となっています。
- 子どもが「自分から、自分で、めいっぱい、精一杯」取り組み、うまく成し遂げて満足感を得る学校生活の実現を目指している私たちにとって、大変嬉しい結果です。これからも、子ども主体の学校生活づくりに力を注ぐとともに、「楽しい」の中身の更なる充実を図っていきます。
- 子どもや保護者から「楽しい・充実していると感じていない」旨の回答があること、また、教職員から「子どもが充実した学校生活を送っているように見受けていない」旨の回答があることについては、その割合の高低を問わず、真摯に受け止める必要があると考えます。懇談や聞き取り、個々のお子さんの様子からの見取りなどによって理由や原因を探り、教職員が協力して手立てを講じるよう取り組みます。
- この項目は、上記「2 子どもたちは、学校生活で力をしっかり出せているか」との関連が深いものと思われます。学校生活に楽しさや充実感を感じてもらうために、子どもたち一人ひとりの良さが発揮され、成就感や達成感を得ることができる学習活動を追求します。

## 6 自由記述等で寄せられた御意見について

- 教員の支援の在り方や情報共有に関する御意見、関係機関との連携についての御意見等をいただきました。

いずれの御意見も、本校教育の向上のために重要であると受け止めております。内容として、校内のみで対応できることも校外の関係機関との連携が求められることもあります。御意見を踏まえた対応策を検討し、教員としての資質及び専門性の向上や、一人ひとりに応じた支援をすることに努力していきます。

第一に、教育活動における安全の確保が何にも優先して必要であることを改めて肝に銘じます。

専門性の向上に関しては、引き続き外部の専門家を招いて研修の実施に努めたり特別支援学校教諭免許状所有率の向上に取り組んだりするとともに、日常の授業実践などを通して子どもの様子をしっかりと見取り、よりよい支援の在り方について話し合いをすることなどに努めます。また、自閉スペクトラム症を併せ有するお子さんが多く在籍していることなども考慮しつつ、支援会・ケース会

などの機会を活かして関係機関などから助言を得ることなどにも、継続して取り組みます。

教員間の情報共有や連携、複数年にわたる継続した支援の在り方に関しては、本校が最も大切にすべきことのひとつとして取り組んでいます。なお、いっそうの注意を払って、御不安を抱かせることのないよう努めていきます。併せて、学校生活の様子や学習内容・成果等をお知らせすることについて、よりよくお伝えすることができるよう方法を検討していきます。

○ 「個別の学習」に関する御要望や、教科別の指導に関する御意見をいただきました。

本校では、「各教科等を合わせた指導」を教育課程に大きく位置付けており、お子さん方が協力して一つの活動に取り組む中で個々の様子に応じた教科の内容を扱うことがメインになります。一人ひとりのお子さんについて「〇〇さんにとって、〇〇（の教科）で扱う内容は〇〇である」というように、そのお子さんが今重点的に学ぶ必要があると考えられる各教科等の内容を、みんなで取り組む一つの活動の中で取り扱うという形での学習をするようにしています。したがって、「個別の時間や場所、教材を用意しての個別の学習」という形ではありませんが、扱う教科等の内容については「個別の学習」ということになります。

本校が大きく位置付けている指導の形態「各教科等を合わせた指導」は、知的障害教育における指導の形態として特別支援学校学習指導要領において認められているものです。“合わせた指導”ですので、その中に基本的な生活習慣の育成や（いわゆる“読み・書き・計算”といった）教科学力の習得も含まれています。国語や算数・数学といった教科別の授業をしたり、特定の生活スキルだけを取り上げて訓練のように取り組んだりすることは本校の教育にはなじまないと考えておりますが、そうした力をお子さんに身に付けていってもらえるよう、「各教科等を合わせた指導」の充実に向けた取組を続けていきます。

なお、子どもさんの様子によっては、文字や数字を書くことのように一定の練習が必要となるものについて、「各教科等を合わせた指導」との関連の下で工夫して扱っていくよう配慮していきます。具体的には、その時に取り組んでいる「各教科等を合わせた指導」の活動において使う文字や数字、計算などを取り上げるといったことが挙げられます。また、書字や計算の基礎となる、手先の器用さや数量の概念などが身に付いているかどうかや、その学習活動（例えばプリント学習）に対する意欲があるかどうか（“させられる”学習になりはしないか）といったことにも十分に留意していきます。

併せて、紙媒体で行う学習（例えばプリント学習）の内、タブレットを活用して行えるものなどについては、GIGAスクール構想の推進との関連を図りながら取り組んでいます。

○ 「うちの子は学校が大好きだ」「充実した学校生活を送っていると思う」といった、ありがたいお言葉をいただきました。

学校教育目標「やる気いっぱい 市特のなかま」を掲げている本校にとって、この上なく嬉しい、ありがたい御意見です。コロナ対応で活動に制限が生じる中ではありますが、できる限りの手立てを講じ、子どもたちの学校生活が少しでも充実したものとなるよう、引き続き取り組んでまいります。

本校の教育活動は、保護者や関係者の皆様の御理解と御協力無しには成り立ちません。改めてお礼を申し上げますとともに、いただいたお言葉を励みとして引き続き努力してまいります。

以上、御報告といたします。

私たちは、安全・安心の確保を最優先の課題としながら、少しでもいい学校になれるよう引き続き努力してまいります。お気付きの点は御遠慮なくお知らせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。